

事務事業名	筑前茜染活用事業					事務事業No.	453 - 2		
1. 基本情報									
担当部	担当課		担当係		作成者職名	作成者氏名	所属長職名	所属長氏名	
経済部	特産品振興・ふるさと応援課		特産品振興係		主任	佐藤 健伍	課長	瓜生 敦之	
施策体系	総合計画	政 策	4	地域経済					
		施 策	5	観光の振興					
		基本事業	3	特産品を生かした観光資源の開拓					
	その他の計画	個別計画		第2次飯塚市観光振興基本計画					
根拠法令・条例・要綱等	—								
事業開始年度	令和2年度		事業終了年度		継続	事務事業類型	ソフト事業		
実施手法	補助金・負担金交付		補助金等の支給		補助金等あり	実施計画期間	令和5年度～令和7年度		
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と運動）									
概要	日の丸を初めて染めたといわれる筑前茜染は、後継者不足やその原料となる茜草の減少により染色技術や茜染の存続が危ぶまれており、飯塚市筑前茜染協議会（以下「協議会」という。）を設立して筑前茜染の育成・染物体験や飯塚市の新たな特産品の開発に取り組み、地域の個性や歴史・文化伝承等の特性を活かした活動を実施し、郷土に対する愛着や誇りを持つことで、飯塚市の活性化に寄与することを目的とする。								
対象	働きかける相手・もの	市内外の人							
手段	方法・働きかけ（活動指標）	茜草の育成による染料確保及び茜染体験やイベントでの茜染製品の展示							
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	筑前茜染の認知度及び好意的認識の拡大							
3. 活動指標（決算成果説明書と運動）									
指標名		単位	指標の説明（算式等）		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
体験会開催及びイベント参加		回	茜染体験及びイベントの参加数		12	14	10		
茜草育成量		株	染料となる茜草の量		3,706	1,500	1,500		
筑前茜染啓発製品作製		個	筑前茜染啓発用製品の作製数		1	3	1		
4. 成果指標（決算成果説明書と運動）									
指標	体験会及びイベント参加者	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
		人	500	目標値	450	500	550		
説明	参加人数	方向性	達成目標年度	実 績	449	383			
		増加	単年度						
指標	新規入会者	単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
		人	10	目標値	5	10	15		
説明	新規入会者数	方向性	達成目標年度	実 績	0	34			
		増加	単年度						
指標		単位	達成目標値		前年度実績	本年度実績	次年度見込		
				目標値					
説明		方向性	達成目標年度	実 績					
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と運動）									
経費区分	一般会計	政策的経費				特別会計	—		
予算科目・事業	会計	1	一般会計	款	7	商工費	項	1	商工費
	大	2	商工業振興事業費	中	35	筑前茜染活用事業費【政策】	目	2	商工業振興費
投入人員 (当該事務事業に対して1年間に投入した人員)	(R2以降)	前年度実績(千円)	本年度実績(千円)	増減理由(10%以上の場合)			次年度予算(千円)		
	正職員	1.00	人 7,946	1.50	人 12,216	補助金額内訳見直しによる減少	1.50	人 12,216	
	任期付職員(保育士)	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	任期付職員(子ども家庭支援員)	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	任期付職員(CW・水質)	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	再任用フル	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	再任用短	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	会計年度 1級フル	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	1級パート	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
	2級パート	0.00	人 0	0.00	人 0		0.00	人 0	
人件費計(A)		7,946	12,216				12,216		
事業費	直接事業費(B)	21,044	3,946				1,570		
	総事業費(A+B)	28,990	16,162				13,786		
直接事業費のうちの主な歳出内訳	補助金	5,017	3,946				1,570		
	委託料	16,027	0				0		
財源内訳	使用料・手数料(受益者負担分)	0	0				0		
	国・県支出金	13,564	3,143				0		
	市債	0	0				0		
	一般財源	15,426	13,019				13,786		
その他()									

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点		評価	評価の理由、または認識している課題を記載
妥当性 評価		高い	会員数や茜染体験依頼は増加していることから筑前茜染への関心は高まっており、今後も市がこれまでも同様に関与しながら、協議会が自走できる体制の構築を図っていく。
効率性 評価		低い	飯塚市筑前茜染協議会補助金の交付を行っているが、コスト見直し及び財源の確保に向けた取り組みを行うことで補助割合を下げる余地がある。
有効性 評価		高い	筑前茜染は飯塚市独自のものであり、今後も伝承、啓発活動を行うことで認知度向上に努めていく。
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	市民に対する筑前茜染の認知度向上を目的とした茜染体験等の定例化。
一次評価	拡充		
	コストの方向性	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	筑前茜染製品の商品開発に係る経費及び製品販売に向けた検討事項（価格設定、販路、製造体制など）を調整し、将来的な自主財源の確保に努める。
	縮小		
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
茜染体験及びイベント参加数の増加により筑前茜染の認知度拡大に努めた。			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
【成果】	筑穂地域の小学校での茜染体験及び授業による啓発や外部依頼の体験会の回数増加により認知度向上につながった。市ホームページや協議会チラシの作製により新規会員が増加した。		
【課題】	協議会の自主的な運営体制の構築。		
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性		理由	目の丸を初めて染めたといわれる筑前茜染は飯塚市独自のものであり、市内外により広く周知していくために茜染体験実施やイベント参加、会員数の増加に努めるため。
拡充			
コスト投入の方向性		理由	事業内容の見直し等により補助金の減額を検討する必要があるため。
縮小			
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		イベントでの茜染製品の展示やホームページ等での情報発信を行う。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		市内の小中学校や依頼のあった個人、団体への茜染体験の実施。	
評価変更理由	成果の方向性	筑前茜染の周知を行い市内市外の方の認知向上及び茜草の育成を行って今後協議会が自走できるように行っていく方向性により「拡充」 事業実施の内容の見直し、協議会自体が自走できるような自主財源を確保していく方向性により「縮小」	
	拡充		
	コスト投入の方向性		
	縮小		